三重県経営者協会

みえ経協

MIE EMPLOYERS' ASSOCIATION

JANUARY 2022
1
vol.67

三重県SDGs推進パートナー
登録受付中！

三重県
SDGs
推進パートナー

三重県
Mie Prefecture Government

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

三重県は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

申し込み・お問い合わせ先
三重県 戦略企画部 企画課
TEL 059-224-2025
メール sdgs@pref.mie.lg.jp

目次・主な内容

新年のご挨拶（三重県経営者協会会長）	2
新年メッセージ（日本経済団体連合会会長）	3
新年のご挨拶（三重県知事）	4
年頭のご挨拶（三重労働局局長）	5
三重経協 News	6
三重労働局 News	14
新年賀詞交換	15
新会員の紹介・れんらく・つうしん	21
業務日誌	22

新年のご挨拶

三重県経営者協会
会長　原　恭

あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかに清々しく新年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

旧年中は当協会の事業活動につきまして、格別のご配慮を賜り、心よりお礼申しあげますとともに、今年も変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

昨年も、一昨年に続きあらゆる面において新型コロナウイルスに翻弄された1年でありました。三重県においても「三重とこわか国体・三重とこわか大会」は中止となり、県民総出で大会の成功を期待していたところでありましたが残念な結果となりました。会員企業の皆様にも少なからず影響があったかと思います。

また、1年延期された「東京2020オリンピック・パラリンピック」も感染拡大により当初の計画とは異なり、ほとんどの競技で無観客開催となり、当協会の福島視察も残念ながら中止となりました。しかし、緊急事態宣言下という特殊な環境での大会となったにも関わらず、選手や関係者間の感染も抑制され目立った混乱もありませんでした。当面続く恐れのあるコロナ下において感染抑制と社会経済活動を両立させていく象徴となったのではないかと考えています。

今後、コロナから回復していく世の中において、ニューノーマルといわれる新たな生活様式が定着する面とコロナ以前に戻る面の二極化していく、例えばリモートやWebの活用が進む一方で「Face to Face」のリアル対応が効果的なこともあるのではないでしょうか。その他、コロナによる経済活動の低迷で隠されていた労働力人口不足問題についても、事務系の職種ではテレワークが浸透することで新たな働き方が可能となり就労人口を増やすことが期待されます。現業系の職種ではコロナで受け入れが止まっていた外国からの労働者を再び取り入れることも考える時期が来るでしょう。

国政に目を向けますと、昨年秋に発足した岸田政権は、政策の基盤として「新しい資本主義」を掲げました。第1回の「新しい資本主義実現会議」でまとめられた緊急提言では、賃上げを行う企業に対する税制支援などの分配戦略や、科学技術立国の推進、スタートアップ企業への支援などの成長戦略が示されました。特に我われ民間企業には今後の「新しい資本主義実現会議」での春闘に向けた方向性の議論には注視が必要です。そして、本年4月の女性活躍推進法改正により「一般事業主行動計画の策定・届出義務」および「自社の女性活躍に関する情報公表の義務」の対象規模が、常時雇用労働者301人以上から101人以上の事業主に拡大されます。また、同じく4月から段階的に施行されます育児・介護休業法改正も「男性育休」が注目されていますが、その主旨は「性別や雇用形態に関係なく、企業全体で育児と仕事の両立をサポートする」というものです。我われ企業はコロナからの業績回復、ダイバーシティの推進、またサステナビリティやDXなどへの対応などに迫られています。そのために実施される国や県など自治体からの支援策を活用することも必須です。

当協会はこれらに関するセミナーの開催や会報誌、メール配信等を通じての最新事例や情報周知など会員企業の皆様にとって有益となる活動を行ってまいります。

結びに、本年がコロナ禍に打ち勝ち、経済状況等がV字回復するターニングポイントとなること、そして会員企業の皆様にとって輝かしい年になるようご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

―経団連会長新年メッセージ―

サステイナブルな資本主義で持続可能な未来社会の確立を

一般社団法人 日本経済団体連合会
会長 十倉 雅和

昨年6月1日に会長に就任してから半年が過ぎた。この間、最優先してコロナ禍の克服と社会経済活動の活性化の両立を実践した。並行して、中西さんが提唱したSociety 5.0 for SDGs、サステイナブルな資本主義といった路線を継承しつつ、市場経済の中に社会性の視点（from the social point of view）を入れることで、これまでの路線をさらに発展させるべくスピード感をもって取り組んだ。

経団連が掲げる「サステイナブルな資本主義」は、岸田総理が目指す「新しい資本主義」と軌を一にするものである。岸田総理は、昨年10月の政権発足以来、「新しい資本主義の実現」に力を注ぐことを表明してこられた。柱となるコンセプトは、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」である。総理を議長とする「新しい資本主義実現会議」では私から、分配は成長とセットで議論すべきであり、まずは成長が重要であることを強調した。そのために取り組むべき課題は、コロナで問題となった我が国の危機管理能力の向上など社会的共通資本の構築であり、こうした課題は市場経済だけでは解決できないため、政府の役割が重要になることを指摘した。また、新しい資本主義の実現には、サステイナブルな地球環境が欠かせないことから、デジタルトランスフォーメーション（DX）と並んで、グリーントランスフォーメーション（GX）についても、政府全体で議論していく必要があることを繰り返し訴えている。

GX、DXに加えて、スタートアップ振興、規制改革、地方創生、働き方の変革と人材の育成、国際社会との連携・協調、財政健全化と持続可能な全世代型社会保障改革など、内外の重要政策課題を強力に推進することが急務である。

企業こそが成長と分配の担い手であるという覚悟と気概を持って、経団連は、2022年も岸田内閣と力を合わせ、コロナ禍の克服とサステイナブルな資本主義による持続可能で豊かな未来社会の確立に向けて、全力で取り組んでいく所存である。皆様のより一層のご支援、ご協力をお願い申しあげる。

新年のご挨拶

三重県知事
一　見　勝　之

新年あけましておめでとうございます。

令和４年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

三重県経営者協会におかれましては、「人材こそが企業の発展の根源」であるという理念に基づき、活力ある地域経済社会の実現、企業の相互発展のために、三重県の総合経済団体として企業経営、人事労務の諸問題の解決に積極的に取り組まれておりますことに、深く敬意を表します。

昨年９月、県民の皆様のご信任を賜り、三重県知事に就任いたしました。三重で生まれ育った私は、国での35年の行政経験を生かして、県民の皆様の負託に応えるべく、ふるさと三重のために全力を尽くしてまいる所存です。

さて、昨年を振り返りますと、一昨年に続き、新型コロナウイルス感染症が世界的に大きな影響を及ぼした一年でした。この間、企業の皆様におかれましては、経済活動が大きな影響を受ける中においても、感染拡大の防止とともに、事業継続や雇用確保にご尽力いただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

労働環境の面では、平成31年４月から順次施行された働き方改革関連法への対応として、年次有給休暇取得促進や時間外労働削減の取組にご尽力いただいている中で、コロナ禍をきっかけに人々の生活様式が変化するとともに、新しい働き方へのシフトチェンジが飛躍的に進みました。県においても、働き方改革の推進に取り組むとともに、テレワークの導入に取り組む企業へのアドバイザー派遣等による支援を実施し、誰もが働き続けることができる職場づくりに注力して取り組んできました。

上記取組に関し、貴協会におかれましては、「産・福・学」による「障がい者雇用情報交流会」及び「インターンシップ＆就職活動対策セミナー」の開催にご協力いただいたところです。

また、貴協会をはじめ、日本労働組合総連合会三重県連合会（連合三重）、三重県医師会、三重県産婦人科医会、三重労働局、本県との連携協定を締結している各団体と協力し、「不妊治療と仕事の両立に関するセミナー＆相談会」を開催いただくなど、仕事と不妊治療の両立にも積極的に取り組んでいただいている貴協会のご理解とご協力に、重ねてお礼申し上げる次第です。

さらに、貴協会と連合三重により組織される「三重労使雇用支援機構」においては、「障がい者ステップアップ推進運動」の一環として、令和３年４月に開催された「だいだい食堂１周年フェア」の参加者への賞品を贈呈いただくなど、障がい者雇用の推進に多大なる貢献をいただいております。また、地域の多様な主体により設置した三重県生涯現役促進地域連携協議会が実施する高年齢者雇用に関する再就職支援セミナーや事業所向けセミナーにもご協力いただいており、改めて感謝申し上げます。

県としましては、今後も「三重県らしい、多様で、包容力のある持続可能な社会」の実現に向け、働き方改革の推進や、誰もが活躍できる環境づくりに取り組んでいく所存です。貴協会におかれましては、今後とも変わらぬ、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、三重県経営者協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

年頭のご挨拶

三重労働局
局長 西 田 和 史

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、三重労働局の行政運営に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大から２年近くが経過し、社会経済活動の再開・活性化が期待される中、県内の雇用情勢は、令和３年11月の有効求人倍率が1.26倍と一部に持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に注意する必要があります。

こうした中、三重労働局では現在、「雇用機会の維持確保」「労働環境の整備」及び「女性活躍等の推進」を柱とする雇用・労働施策について、地域における総合労働行政機関として、労働基準監督署及び公共職業安定所が一体となって機動的かつ的確な対応により、取り組んでいるところです。

今後、ポストコロナに向けた「成長と雇用の好循環」を目指す中、最近の取組を行政課題ごとに紹介します。

まず、職業安定行政では、就職氷河期世代の支援について、「みえ就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」において取りまとめられた実施計画に基づき、各界一体となった取組を重点的に推進することとしております。

また、昨年３月から障害者雇用率が引き上げられた中、障害者雇用の促進や安定に関する取組などが優良な中小事業主を認定する［もにす認定制度］の周知・取得を強化するなど、障害者雇用の一層の推進を図ってまいります。

続いて、労働基準行政では、「働き方改革関連法」により改正された労働基準関係法令に基づき、引き続き、長時間労働の抑制及び過重労働による健康障害防止に係る指導を徹底するとともに、中小企業へのきめ細かな相談・支援を実施してまいります。

また、労働災害について、コロナに伴い昨年増加した中、「死亡災害ゼロ・アンダー2,000みえ推進運動」をより一層展開、推進してまいります。

更に、雇用環境・均等行政では、以下の改正法の施行に伴い、「女性活躍・男性の育児休業取得の促進」に取り組むこととしています。

○改正育児・介護休業法が本年４月１日から順次施行され、男女ともに仕事と育児を両立できるように、産後パパ育休制度の創設や雇用環境整備、個別周知・意向確認の措置などが義務化されます。

○改正女性活躍推進法の施行により、一般事業主行動計画の策定や情報公表の義務が常用労働者数101人以上の企業に拡大されます。

この他、「同一労働同一賃金など雇用形態に関わらない公正な待遇の確保」「柔軟な働き方がしやすい職場環境整備」「総合的なハラスメント対策の推進」等に取り組んでまいります。

これら施策の実施に当たっては、三重県や市町、労使団体等の皆様と連携を密にし、適切かつ効率的な行政運営に努めてまいりますので、本年も引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、貴会並びに会員の皆様方のご健勝・ご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

10月度書面理事会

10月8日（金）に開催を予定しておりました理事会につきましては、急遽会場（プラザ洞津）が10月1日から全館休館となる事と併せ、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されている現状を踏まえ、書面での開催とさせて頂きました。会長1名、副会長7名、理事41名、監事2名、専務理事1名の計52名の役員・理事の皆様には、下記の役員人事の承認についてご賛同を頂きました。

協議事項

1．役員人事の承認について

理事交代の件

交代日　令和3年6月23日

（退任）

住友電装㈱

代表取締役執行役員社長　川井（かわい）　文義（ふみよし）氏

（新任）

住友電装㈱

代表取締役執行役員社長　漆畑（うるしばた）　憲一（けんいち）氏

（退任）

三交不動産㈱　代表取締役社長　高林（たかばやし）　学（まなぶ）氏

（新任）

三交不動産㈱　代表取締役社長　中村（なかむら）　充孝（みちたか）氏

交代日　令和3年6月25日

（退任）

昭和四日市石油㈱

代表取締役社長　伊藤（いとう）　智明（ともあき）氏

（新任）

昭和四日市石油㈱

代表取締役社長　前澤（まえざわ）　浩士（ひろし）氏

交代日　令和3年6月28日

（退任）

東邦ガス㈱　三重地域支配人　草深（くさふか）　隆道（たかみち）氏

（新任）

東邦ガス㈱　三重地域支配人　佐宗（さそう）　利幸（としゆき）氏

交代日　令和3年7月1日

（退任）

富士電機㈱食品流通事業本部三重工場

人事総務部長　室橋（むろはし）　徹（とおる）氏

（新任）

富士電機㈱食品流通事業本部三重工場

総務部長　元木（もとき）　禎史（よしふみ）氏

2．（1）令和3年度事業進捗状況について

（2）令和3年度予算執行状況について

※いずれも書面理事会でご賛同頂きました。

＜報告資料＞

1．高年齢者雇用に関する事業所向けセミナー
　再就職支援セミナー
2．障がい者雇用ステップアップ推進運動活動
3．三重県「産・福・学」障がい者雇用情報交流会
4．令和3年女性懇話会
5．令和3年度労務管理改善協力委員会
6．令和3年度「新入社員フォロー研修」
7．令和3年度「階層別研修」
8．第66回三重労使会議・三重労使雇用支援機構
9．会員状況

※以上の状況を書面理事会でご報告致しました。

WEB配信による特別講演会

10月8日（金）に開催を予定しておりました理事会を書面理事会に変更した為、三重県庁よりＷＥＢ配信による特別講演会を開催しました。WEBでの参加者は21名でした。内容等は以下の通りです。

三重県のデジタル社会形成に向けた取組

三重県最高デジタル責任者（CDO）
兼デジタル社会推進局長
田中　淳一 氏

講演する田中局長

県庁全部局のDXを統括する最高デジタル責任者=CDOの全国初の公募に応じ、2021年4月1日に就任し、デジタル社会推進局長も兼務しています。この部署は他の部局から独立しており、これは現段階では東京都と三重県だけです。局内をデジタル社会形成に向けた方向性を取りまとめるデジタル戦略企画課、県庁内及び市町村のDXを進めるスマート改革推進課、そして社会全体のDXを推進するデジタル事業推進課の3つの課に分けられております。3課ではビジョンとして“実現したい未来”を「誰もが住みたい場所に住み続けられる三重県」として掲げ､その為に「あったかいDX」を実現することをミッションとし、これらを実行するために、行動の価値観を、圧倒的当事者意識の下で時間はコストと認識し、やれることは全部やるべき、との価値観を持って事業を進めております。

DXは多義的なので、このDXを「デジタルを活用することにより時間短縮や付加価値の向上を実現すること」と具体的に定義し、「DXによって、県民の皆様に時間の余裕が生まれ、幸福実感が向上していくあったかいDX」実現の為､今後更にアップデートして行きます。

9月1日、多様なご相談に応じる窓口として「みえDXセンター」を開設しました。これにはGoogleやドコモなどに「パートナー」として参加いただき、各分野から「アドバイザー」を迎え、その活動を客観的に評価し、アドバイスする「みえDXボード」を設けています。

続いて、10月10、11日をデジタルの日に設定し、1日から15日まで「花咲かproject」を実施しました。これは“三重の良いところ”をツイートしていただくたびに花が増える仕組みのもので、スマホ教室を通じても普及を図っています。チャン・カワイさんにツイートするとAI音声で返信が来る仕掛が結構バズっているようです。

「デジタルの日」は今後大規模なセールも企画されていくと思いますので、皆様もご利用いただけると思います。

配信風景

更にデジタル社会推進局は、AI音声技術を活用しコロナワクチンコールセンターにAI音声技術による24時間365日対応のホットラインを開設しまし

た。さらに“ZOOM”を全庁に導入し、5月13日には「モバイルオーダーシステムの導入」による県内飲食店・宿泊施設のDXの推進構想を発表、次いで、暮らしやすい社会を作るためのアイデアを募集する「三重DXアイデアボックス」を開設しました。加えてインターネット環境の整備のため5G基地局の開設の推進､そして8月31日には「みえDXセンター」の開設を発表致しました。

赤い魚の群れの中にいる一尾の黒い魚「スイミー」が全体の目となって群れを導くお話のように、CDOは組織を導く存在であり、最終的には赤い魚黒い魚の区別なく組織が積極的に行動できるようにするのが私の役割であると思っていますが、着任後種々の問題点がありました。

はじめに、一般企業、特にデジタル企業でコミュニケーションツールがどのように変遷してきたかと言いますと、平成10年頃にメールが定着し、次にその10年後にはLINEが普及しチャットが活用されることが2，3年続きました。その後はスラック・コネクトやマイクロソフトのチームスなどのコラボレーションツールがデジタル企業だけではなく一般企業でも使われ、このような試行錯誤を繰り返しながら現在のデジタルコミュニケーションに切り替えて来ています。

しかし県庁のコミュニケーションは基本的に“会話”で、対面会議、電話、立ち話が横行、議事録や録音資料はあったものの、紙資料が中心でした。そして上省の指示からかデジタルツールがあまりに不備でセキュリティ重視のあまり利便性が損なわれ、事務作業が煩雑になっていたのです。そして新聞やテレビなどの県内ニュースのみに気を配り、ネット上にある膨大な情報を見落としていました。つまり従来の仕事の進め方がそのまま行われ、いわば昭和96年状態に県庁内がありました。

配信風景

この現状を打破するためには、一つ目にデジタルコミュニケーションに大きく転換して、会話と紙資料のコラボレーションツールを活用する形に転換することが必要でした。県庁内にクラスターが発生したことを機にデジタル社会推進局が進めていたリモートワークを9割まで上げ、それでも仕事を停滞させることがありませんでした。二つ目は、テキスト中心のコミュニケーションになるため、簡潔に表現できる技術を磨き、理想の結論から考え方を組み立てていくロジカルシンキングも必要になりました。そして三つ目がプロジェクトマネージメントです。これはWBS（WORK BREAKDOWN STORUCTURE）の活用、つまりプロジェクト全体を細かな細かな作業に分解した構成図を持って計画的に実績管理をしなければなりません。各自の考えをクラウドに上げて共有することが必要になり、プロジェクトの運営が円滑に進んでいきます。そして、四つ目に広くネット上の情報を収集し、そのシャワーを浴びてアウトプットする、これを繰り返して適切な時代認識が生まれます。デジタル推進局では、毎朝ニュースをチェックし共有する作業を続けています。最後に五つ目ですが､ネット上のデジタルサービスを積極的に活用する優れたUI/UXを体験することが重要です。

適切な時代認識を持つことによりそれによって目指すべき理想状態が分かってきます。これにより昭和96年の状態から脱却し、県民目線のサービスが実現出来ると考えています。

今、県庁で進めているこれらのことが、皆様の企業でも参考になれば幸いです。

（文責：事務局）

三重経協活動報告

労務管理改善協力委員会（11月第1部会）＆「インターンシップ&就職活動対策セミナー」

11月9日（火）労務管理改善協力委員会11月第1部会並びに「インターンシップ&就職活動対策セミナー」をWEBセミナーで開催しました。参加者は28名でした。

今回は、三重県委託事業「若者向け企業情報収集業務」との共催でした。内容については、コロナ禍において企業活動が徐々に戻りつつある中、依然として続く人手不足感の解消のために、新卒・中途を含めた厳しい採用活動が再び始まろうとしております。このような状況の中で、自社が求める人材をインターンシップの受入等により、どのように採用するかがポイントとなっております。インターンシップは年々ニーズの増加や多様化する中で、近年ではオウンドメディア（自社が保有するメディア）の活用が注目されるなど、コロナ禍・アフターコロナを見据えて、学生のインターンシップや就職活動にも大きな変化が生じております。そこで、学生･大学の動向と企業における対策を名古屋経済大学経済学部教授･キャリアセンター長の大黒 光一 氏に下記のテーマでお話し頂きました。

講演する大黒講師

◆プログラム

講演テーマ

「コロナ禍・アフターコロナを見据えたインターンシップと就職活動について」

- コロナ禍の大学生の就職活動と企業の採用活動
  ～2極化する就職活動・インターンシップが就職活動・採用活動のキーに～
- 多様化する採用活動手法
  ～人材紹介、オファー型の拡大～
- 大学のインターンシップに対する考え方の変化
  ～単位型と就活型に対する考え方～
- 採用活動のキーとなるインターンシップの実施方法の多様化
  ～増加するオンラインインターンシップとその実施方法～

講師：名古屋経済大学経済学部教授・キャリアセンター長
大黒　光一　氏（元リクルート　就職ジャーナル編集長）

講演風景

年末調整実務セミナー

11月16日（火）三重県総合文化センター　文化会館　中会議室において、「年末調整実務セミナー」を開催しました。当日は18名の参加があり、講師の今井 富久翁税理士及び副所長の今井 隆文両名から前半・後半に分けて講義が行われました。初めて担当される方も参加されていた為、年末調整とは何か、特に各種控除について詳しく説明がありました。その後、手順と例に基づいて実際に計算が行われました。続いて、「年末調整Q&A」を想定される質問が書かれたテキストをもとに解説し、最後に令和5年10月1日から開始される「消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）」について説明を受けました。講義終了後、個別での質問時間を設け、皆さんから多数質問が出ていました。

講演する今井講師

年末調整実務セミナー風景

中部経協三県連携事業

新入社員フォロー研修第2回「社会人基礎力を身につける」

研修風景

11月18日（木）アスト津4階「会議室1」において、新入社員フォロー研修第2回「社会人基礎力を身につける」を参加者24名で開催しました。

講師は前回に引き続き㈱ソ・ラボ　代表取締役の山田 将史 氏をお迎えし、前半は、第1回研修後に参加者に取り組むように依頼した日々の「行動チェック表」「感謝の気持ち」についてを本日まで実際に取り組んだかグループで共有し、振り返りを行いました。その後、入社して今までの自分を振り返り、モチベーションが上がるきっかけとなった時期、モチベーションが下がるきっかけとなった時期をそれぞれ記入しました。更にその上下するきっかけとなった出来事を記入し、グループでお互いをフォローしながら何をすればモチベーションが上がるかを共有しました。また、後半は課題発見力を鍛える為に、「あるべき姿（理想像）を追求する姿勢」「根本原因を追究する姿勢」を学び、ロジックツリーを使って実践しました。ロジックツリーの3種類（What・Why・How）の中で、Why ツリー（問題の原因を考える）を2つの例題を使ってグループワークしました。続いて自分自身の課題について、ペアになりお互いロジックツリーを使って補完し合いました。最後に問題解決シートと行動目標を記入して終了となりました。

講義する山田講師

■ **研修の目的**　①7ヶ月の振り返り　②シンキング（課題発見力、計画力、創造力）

ルール　・礼儀礼節を守る　・時間厳守　・反応する（聴く、姿勢）

今日を素晴らしい1日にするために

・積極的に！「今・ここ・自分」→たくさん発言し、たくさんチャレンジし、そして失敗すること！

・メモをする　・シェア（共有）する

階層別研修第2回「部下育成講座」

～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理者の育成～

12月9日（木）アスト津4階「研修室 A」において、階層別研修第2回「部下育成講座」を12名で開催しました。

講師は第1回に引き続き㈱ヒューマンブレインアソシエイツの稲垣 正己 氏を講師にお迎えし、前回の振り返り（特に自分のタイプ、パラダイム・チェンジ）を行い、その後、「あなたは、人の話を聴いていますか？」として傾聴テストを行いました。管理者として部下・後輩の話を本当に聴いているか確認し、自分自身、自己主張が強い方かを確認し、人の話を聴く時にどのような聴き方をしているかを診断。また、部下の状況把握をし、実際に部下育成計画を立てながらグループで討議を行いました。今回は、変化適応力を強化するために、先入観や思い込み、偏見、ブライミング等、良くないパラダイムを払拭し、自分自身のマネジメントスタイルを磨き上げる事を学んで頂いた講座でありました。

講義する稲垣講師

■ **主なプログラム**

・管理者として部下の・後輩の話を本当に聴いているか（傾聴テスト）

・納得のコミュニケーションサイクル

・コミュニケーションスタイル

・OJT の基本姿勢

・部下状況把握

・部下育成計画書作成

講義風景

第23回三重県経営者協会会員親睦コンペ

11月23日（火）松阪カントリークラブにおいて、第23回三重県経営者協会会員親睦コンペが開催されました。19名（OUT 3組、IN 2組）が参加され、寒い日でしたが快晴の下、熱戦が繰り広げられました。優勝者は内田 淳正 氏（国立大学法人三重大学　学長顧問）に決まり、原会長より優勝賞品が授与されました。また、今回は、コロナ禍でもありプレー終了後のパーティー、表彰式を行わない関係で前半ハーフ9ホールストロークプレイ（前半の成績にて）にルール変更しました。

当日は、初参加の方もおられ、皆さんプレーをしながら懇親を深められました。

優勝賞品を原会長（左）より授与される内田氏（右）

経協コンペ参加者集合写真

【順位表】

順　位	氏　名	会社名・職名	GROSS	H'CP	NET
優　勝	内田 淳正	国立大学法人三重大学　学長顧問	47	9.6	37.4
準優勝	野島 明彦	三重いすゞ自動車㈱　取締役副社長	44	6.0	38.0
第3位	桐山 智臣	中部電力パワーグリッド㈱　三重支店　総務部長	52	13.2	38.8
第4位	伊藤 孝行	伊藤印刷㈱　取締役会長	51	12.0	39.0
第5位	国分 祐介	山九㈱三重支店　支店長	56	16.8	39.2

※同スコアの場合、年長者を上位とする。

女性懇話会役員会

女性懇話会役員会風景

12月17日（金）に女性懇話会役員会をはな房にて開催しました。伊藤恵子代表（伊藤印刷㈱代表取締役専務）の挨拶に続いて会議が行われました。今年の活動報告の後、来年の活動内容・スケジュール案が事務局より説明があり、スケジュール案が承認されました。当日は8名の参加者でありました。

再就職支援セミナーの開催

高年齢者雇用に関する再就職支援セミナーを下記の内容で開催しました。

※令和３年度生涯現役促進地域連携事業として、三重県生涯現役促進地域連携協議会より、三重労使雇用支援機構が高齢者及び事業所向けセミナーの開催を受託し、セミナーを運営しております。

■開催内容

日時及び開催場所	プログラム
12月2日（木） 13：30～16：30 三重県四日市庁舎 6階「大会議室」 参加人数：100名	主催者挨拶：三重県生涯現役促進地域連携協議会 業務推進者　三井　清輝　氏 第１部：「高年齢者の再就職のために」 講師：㈱Ｒ＆Ｅコンサルタント人財育成専門チーム チーフコンサルタント　中川　眞理子　氏 第２部：「高年齢者の働き方について」～体験談をふまえて～ 講師：キャリアコンサルタント　西村　佳美　氏 第３部：「業界研究」 ①「介護・福祉等」 医療法人博仁会（村瀬病院グループ） ②「卸売業・小売業」三重交通商事㈱ 第４部：個別相談会 ・三重県生涯現役促進地域連携協議会 社会福祉法人三重県社会福祉協議会

講演する中川講師

講演する西村講師

業界研究
（医療法人博仁会）

業界研究
（三重交通商事㈱）

再就職支援セミナー（四日市）風景

■開催内容

日時及び開催場所	プログラム
12月8日（水） 13：30～16：30 三重県松阪庁舎 6階「大会議室」 参加人数：32名	主催者挨拶：三重県生涯現役促進地域連携協議会 業務推進者　三井　清輝　氏 第1部：「シニア世代のライフプランについて」 講師：グッドライフ設計塾　代表　菅田　芳恵　氏 （特定社会保険労務士・1級） 第2部：「高年齢者の働き方について」 ～体験談をふまえて～ 講師：キャリアコンサルタント　西村　佳美　氏 第3部：「業界研究」 ①　「介護・福祉等」 社会福祉法人三重県社会福祉協議会 ②　「卸売業・小売業」㈱赤福 第4部：個別相談会 ・三重県生涯現役促進地域連携協議会

講演する菅田講師

講演する西村講師

再就職支援セミナー（松阪）風景

業界研究
（三重県社会福祉協議会）

業界研究
（㈱赤福）

■開催内容

日時及び開催場所	プログラム
12月21日（火） 13：30～16：30 三重県伊勢庁舎 4階「401会議室」 参加人数：43名	主催者挨拶：三重県生涯現役促進地域連携協議会 業務推進者　三井　清輝　氏 第1部：「コロナ禍で主流になったWEB面談（面接）の注意点」 講師：名古屋経済大学経済学部 教授兼キャリアセンター長　大黒　光一　氏 第2部：「高年齢者の働き方について」 ～体験談をふまえて～ 講師：キャリアコンサルタント　西村　佳美　氏 第3部：「業界研究」 「卸売業・小売業・観光業」㈱伊勢福 第4部：個別相談会 ・三重県生涯現役促進地域連携協議会

講演する大黒講師

再就職支援セミナー（伊勢）風景

講演する西村講師

業界研究（㈱伊勢福）

事業主の皆さまへ（１～４は全企業が対象）

令和4年4月1日から 育児・介護休業法が改正されます

育児・介護休業等に関する規定の整備のご準備をお願いします

1　雇用環境整備、個別の周知・意向確認の措置の義務化　　令和４年４月１日施行

● **育児休業を取得しやすい雇用環境の整備**

事業主は以下のいずれかの措置を講じなければなりません。※複数の措置を講じることが望ましいです。

① 育児休業・産後パパ育休に関する**研修の実施**
② 育児休業・産後パパ育休に関する相談体制の整備等（**相談窓口設置**）
③ 自社の労働者の育児休業・産後パパ育休取得**事例の収集・提供**
④ 自社の労働者へ育児休業・産後パパ育休**制度と育児休業取得促進に関する方針の周知**

● **妊娠・出産（本人または配偶者）の申し出をした労働者に対する個別の周知・意向確認の措置**

本人または配偶者の妊娠・出産等を申し出た労働者に対して、事業主は育児休業制度等に関する以下の事項の周知と休業の取得意向の確認を、個別に行わなければなりません。※取得を控えさせるような形での個別周知と意向確認は認められません。

周知事項	① 育児休業・産後パパ育休に関する制度 ② 育児休業・産後パパ育休の申し出先 ③ 育児休業給付に関すること ④ 労働者が育児休業・産後パパ育休期間について負担すべき社会保険料の取り扱い	個別周知・意向確認の方法	①面談　②書面交付　③FAX ④電子メール等のいずれか 注:①はオンライン面談も可能。 ③④は労働者が希望した場合のみ。

2　有期雇用労働者の育児・介護休業取得要件の緩和　　令和４年４月１日施行

有期雇用労働者の育児休業及び介護休業の取得要件のうち「事業主に引き続き雇用された期間が１年以上である者」であることという要件を廃止※無期雇用労働者と同様の取り扱い
（引き続き雇用された期間が１年未満の労働者は労使協定の締結により除外可）

3　産後パパ育休（出生時育児休業）の創設、４　育児休業の分割取得　　令和４年10月１日施行

	産後パパ育休（R4.10.1～） 育休とは別に取得可能	育休制度 （R4.10.1～）	育休制度 （現行）
対象期間 取得可能日数	**子の出生後８週間以内**に **４週間まで**取得可能	原則子が１歳 （最長２歳）まで	原則子が１歳 （最長２歳）まで
申出期限	原則**休業の２週間前**まで※1	原則１か月前まで	原則１か月前まで
分割取得	分割して**２回**取得可能 （初めにまとめて申し出ることが必要）	分割して**２回**取得可能 （取得の際にそれぞれ申し出）	原則分割不可
休業中の就業	労使協定を締結している場合に限り、**労働者が合意した範囲**※2**で休業中に就業することが可能**	原則就業不可	原則就業不可
１歳以降の延長		**育休開始日を柔軟化**	育休開始日は１歳、１歳半の時点に限定
１歳以降の再取得		特別な事情がある場合に限り **再取得可能**※3	再取得不可

※１　雇用環境の整備などについて、今回の改正で義務付けられる内容を上回る取り組みの実施を労使協定で定めている場合は、１か月前までとすることができます。
※２　具体的な手続きの流れは以下①～④のとおりです。
①労働者が就業してもよい場合は、事業主にその条件を申し出
②事業主は、労働者が申し出た条件の範囲内で候補日・時間を提示（候補日等がない場合はその旨）
③労働者が同意④事業主が通知
※３　1歳以降の育児休業が、他の子についての産前・産後休業、産後パパ育休、介護休業または新たな育児休業の開始により育児休業が終了した場合で、産休等の対象だった子等が死亡等したときは、再度育児休業を取得できます。

5 従業員数1,000人超えの企業は育児休業取得状況の公表が義務になります　　令和５年４月１日施行

お問い合わせ先

三重労働局　雇用環境・均等室　電話:059－226－2318
改正内容の詳細については、厚生労働省ホームページ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000130583.htmlでもご覧いただけます。

三重県経営者協会

会　長	原　　恭
副会長	小川　　謙
副会長	川村則之
副会長	伊藤恵子
副会長	水野正信
副会長	田山雅敏
副会長	木本啓輔
副会長	伊藤正明

(50音順)

株式会社
R&E コンサルタント
経営コンサルタント
(経営・労務・人財育成・地域活性化・成長戦略)
代表取締役 小林吉光

Asahi Language Academy
18ヶ国語(中部関東40拠点、オンライン講座 全国/世界配信)、企業内研修
株式会社 アサヒ外語学院
代表取締役社長 高木暢子
0120-86-8748

想像(イメージ)を創造(クリエイト)する
各種印刷からホームページなどのデジタル関連商品まで幅広いメディアに対応して、皆様の情報発信のお手伝いをいたします。
株式会社 アイブレーン
TEL 0596-27-1111(代) 代表取締役 楠木裕子

旭鍍金株式会社
代表取締役社長 中山敏
TEL 059-234-9555

株式会社 赤福
代表取締役社長 濵田勝子

〒514-0031 津市北丸之内20
株式会社 朝日屋
代表取締役 香田佳永

フィッシング遊

アサヒレジャー株式会社

代表取締役社長　上　野　精　一

おいしい！の笑顔をつくる

井村屋グループ

代表取締役会長(CEO)　浅　田　剛　夫

アミカン株式会社
東洋工業株式会社

代表取締役会長　伊　藤　勘　作

創業38年　～ありがとうございます～
～まごころこめて～製造・物流サポートします

O-USES オーユーセス株式会社

代表取締役社長　木下 隆生

三重県からJリーグを！

鈴鹿ポイントゲッターズ

冷凍／空調／電気　工事･メンテナンスなら
「地域密着！顧客満足度120%」の

有限会社 奥田冷機

取締役会長　奥　田　幸　広

伊勢新聞社

代表取締役社長　小　林　千　三

株式会社おやつカンパニー

代表取締役社長　手　島　文　雄

伊勢赤十字病院

病院長　楠　田　　司

キオクシア株式会社

常務執行役員　生産統括責任者　四日市工場長
松下　智治

ISO27001情報管理国際認証取得

総合印刷・出版
伊藤印刷株式会社

代表取締役　伊藤誠司

ふれあい・たいせつに
ぎゅーとら

代表取締役　清　水　秀　隆

今村・倉田会計事務所

所長・税理士　今　村　元　宣

Shima Kanko Hotel

株式会社近鉄・都ホテルズ　志摩観光ホテル
執行役員総支配人　平田　芳久

人を取り巻く全ての予防衛生を支援します

株式会社 イムテス

代表取締役会長　小　林　眞一郎
代表取締役社長　山　口　久　美

都ホテル 四日市

株式会社近鉄・都ホテルズ
総支配人　村　瀬　恵　美

農業屋
クラギ株式会社
代表取締役　竹　内　秀　樹

株式会社三交ドライビングスクール
四日市自動車学校
名四自動車学校
取締役社長　今　藤　良　雄

栗田石油 株式会社
代表取締役　栗　田　　明
TEL 059-227-6351

三交不動産株式会社
代表取締役社長　中　村　充　孝

学校法人 皇學館
皇學館大学・皇學館高等学校・皇學館中学校
理事長　小　串　和　夫

優良派遣事業者認定
株式会社 ジェントリー
代表取締役社長　伊　藤　正　憲

御在所ロープウエイ
GOZAISHO ROPEWAY
取締役社長　別　府　通　孝

響いてこそ技術
SINFONIA
シンフォニアテクノロジー株式会社
執行役員 伊勢製作所長　山　国　稔

～東京・静岡・愛知・三重・京都・大阪に全15店舗～
株式会社 三交イン
SANKOIN
取締役社長　村　田　陽　子

SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE
鈴鹿医療科学大学
SUMS
理事長　髙　木　純　一
学　長　豊　田　長　康

三交興業株式会社
名阪関ドライブイン
名阪上野ドライブイン
取締役社長　豊　永　　久

住友電装株式会社
代表取締役執行役員社長
漆　畑　憲　一

安全で快適な暮らしをサポート
三交コミュニティ
取締役社長　伊　藤　貴　之
TEL：059-253-4051

株式会社 ZTV
取締役社長　田　村　欣　也

安全・安心・快適
株式会社 三交タクシー
取締役社長　中　島　嘉　浩

南部自動車学校グループ
共感警備の
㈱セフティージャパン
代表取締役社長　加　藤　有　翔

人の心に、街のまん中に、明るさをずっと。

株式会社 扇港電機

代表取締役社長 横山大幸

湯めぐり海百景

鳥羽シーサイドホテル

代表取締役社長 藪本竜太郎

クスリをもっと、人の近くへ。

中外医薬生産株式会社

代表取締役社長 田山雅敏

ナガシマリゾート

長島観光開発株式会社

取締役社長 水野正信

感激・感動・成長をキーワードに
100年企業を目指す

株式会社 中勢ゴム

代表取締役 稲垣進也

中辻医科器械株式会社

代表取締役 三宅努

感動空間創造企業

TSUJI CONSTRUCTION CO.,LTD

株式会社辻工務店

http://www.tsujikoumuten.co.jp

代表取締役社長 吉田安寿

21世紀のエネルギーを考える会・みえ

会長 小林長久

津市栄町3丁目248番地 きりんセカンドビル302号

TEL 059-229-3790

未来へつなぐ津商工会議所～魅力あふれる津市へ!!

津商工会議所

会頭 伊藤歳恭

日東カストディアル・サービス株式会社
三重支店

支店長 増井隆志

魅力好感百貨店

株式会社 津松菱

代表取締役社長 谷政憲

物流と人のハーモニー

TRANCY

日本トランスシティ株式会社

代表取締役会長 小川謙

あしたが すてきに!

TOHO GAS

東邦ガス株式会社

三重地域支配人 佐宗利幸

ネッツトヨタ三重株式会社

代表取締役社長 平野真也

快適以上を、世の中へ。

中部電力グループ

TOENEC

株式会社トーエネック

執行役員三重支店長 伊藤公一

野村證券株式会社

津支店 支店長 後藤健太郎

いまから、ずっと。
これから、もっと。 人生100年パートナー

パーソルテンプスタッフ株式会社
代表取締役社長 木村 和成
TEL:059-213-7800

〈昭35.10.開場〉
株式会社 三重カンツリークラブ
取締役社長 水谷 佳広

人と企業を誠意で結びます
パソピア 検索
株式会社 パソピア
代表取締役 中田 将司
TEL 059-213-6733

「三重から世界へ」!!
信頼される製品づくりに努めています。
三重金属工業株式会社
代表取締役社長 平谷 雅弘

百五銀行
取締役頭取 伊藤 歳恭
FRONTIER BANKING

三重県観光開発株式会社
取締役社長 鳥居 正彦

公立学校共済組合津宿泊所
プラザ洞津
支配人 辻 昭司
TEL 059-227-3291

三重交通株式会社
代表取締役社長 竹谷 賢一

松阪カントリークラブ
代表取締役社長 田島 誉之
TEL:0598-29-2911

三重交通商事株式会社
取締役社長 柳井 晃

ものづくりに携わり、100年
MCC CORPORATION
株式会社 松阪鉄工所
代表取締役社長 加藤 賢治

がんばる企業を応援します。
三重県信用保証協会
会長 稲垣 清文

松阪木材株式会社
代表取締役会長 田中善彦
代表取締役社長 久保 覚
TEL 0598-20-2323 FAX 0598-20-1082

つながる知、ひらく未来、地域共創大学へ
国立大学法人 三重大学
学長 伊藤 正明

三重いすゞ自動車株式会社
代表取締役社長 川村 則之

三重テレビ放送株式会社
代表取締役社長 長江 正
TEL:059-226-1133

三重トヨペット株式会社
Be the First.
代表取締役会長　川喜田　久
代表取締役社長　井上　喜晴
TEL 059-227-7171(代表)

株式会社 安永
Yasunaga
代表取締役社長　安　永　暁　俊

Think Next Security
MIWA
美和ロック株式会社　代表取締役社長　川邉　浩史

消防防災で安全安心を創る
株式会社 山口商会
代表取締役社長　山　口　久　彦

名阪近鉄バス株式会社
取締役社長　田　端　英　明
観光バス営業部三重支店
TEL：059-346-1722

社会と企業が求める人材を育成する
学校法人 暁学園
四日市大学
理事長　喜　岡　　渉
学　長　岩　崎　恭　典

安田小児科内科
病児・病後児・預り保育「ミー」併設
理事長　安　田　尚　樹
TEL：0598-28-8828

電設資材　FA機器　空調
菱工産業株式会社
RYOUKOU SANGYO CO.,LTD
代表取締役社長　今村　太一
TEL 059-228-9339　FAX 059-228-9379

新会員の紹介

有限会社はな房

事業内容　飲食業
代 表 者　代表取締役　黒田 栄里子
所 在 地　津市乙部２８－１
電　　話　０５９－２２４－０７８３
Ｆ Ａ Ｘ　０５９－２２５－５１３３
ホームページ　http://www.mie-hanafusa.co.jp/

新規会員のご紹介をお願いします

三重県経営者協会は（一社）日本経済団体連合会の地方組織として、県内企業の発展と地域社会に貢献し、グローバルな時代に対応した会員へのサービスの向上を行っております。

今年度も当協会の一層の発展のために、組織の拡大を目指しておりますので、ご入会いただける企業等のご紹介を会員皆様にお願い致します。

ご一報いただきましたら速やかに訪問し、ご説明をさせていただきます。

担当：事務局次長　中村　和仁
電話（059－228－3557・3679）
E-mail　info@miekeikyo.jp

れんらく・つうしん

三重労働局委託　若年者地域連携事業

安心して入社式を迎えるために 内定者向け講習会のご案内

参加費無料

近年、新卒採用が企業にとっては厳しさを増す中、一方で、学生にとっては、売り手市場で内定率が高水準で推移しておりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、非常に厳しい雇用情勢となっております。このような状況下ではありますが、内定辞退者が増加し、企業にとっては、内定から入社までの期間フォローしていく必要があります。

県内でも一部の企業では内定者フォローの研修が行われていますが、全体的には、あまり行われていない状況であり、昨年に引き続き、県内の企業様の内定者（高卒、短大卒、大卒）を対象に一堂に会して、内定者向けの研修を行います。

入社まで残り約２ヶ月となり、この時期に「働く」ということを理解して頂き、また、学生の不安を取り除き、残りの期間で身に付けて欲しい内容を含めて他社の内定者と一緒にグループワークを通して研修を行いますので、是非とも内定者のご参加を頂きます様お願い致します。

■日時　令和４年２月７日（月）13:30 ～ 16:30
■会場　アスト津４階　会議室１　津市羽所町 700(津駅ビル隣)
■対象　企業に就職内定した学生（大学・短大・専門学校、高校等)、34 歳までの若年内定者
■内容　・社会人としての心構え
・社会人基礎力（主体的行動、シンキング力、協動の姿勢）
・入社前後の悩みへの対処法等をグループワークを通して学びます
■講師　名古屋経済大学経済学部教授
キャリアセンター長　　大黒　光一　氏（元リクルート就職ジャーナル編集長）

※新型コロナウイルス感染状況や申し込み状況によっては、中止する場合がございます。
※詳細につきましては、当協会のホームページをご参照下さい。

～失業なき労働移動の実現をめざす 再就職・出向の専門機関～

雇用調整等のニーズのある 1 企業様（送出）と 雇い入れご希望の 2 企業様（受入）との間で 人材マッチングサービスを無料で提供しています。

公益財団法人 産業雇用安定センター 三重事務所

TEL 059-225-5449 FAX 059-221-6197

www.sangyokoyo.or.jp/ 産業雇用 検索

業務日誌（2021・10～12）

事業名	と き	と こ ろ
10月度書面理事会及び WEB 配信特別講演会	10/ 8(金)	三重県庁
中部３県専務理事会議	10/26(火)	愛知県経営者協会
中部３県会長会議	11/ 1(月)	名鉄グランドホテル
労務管理改善協力委員会 第１部会及び「インターンシップ＆就職活動対策セミナー」(WEB)	11/ 9(火)	
年末調整実務セミナー	11/16(火)	三重県総合文化センター 文化会館
中部経協三県連携事業 新入社員フォロー研修 第２回「社会人基礎力を身につける」	11/18(木)	アスト津
第 23 回三重県経営者協会会員親睦コンペ	11/23(火)	松阪カントリークラブ
中部経協三県連携事業 階層別研修第２回「部下育成講座」 ～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理職の育成～	12/ 9(木)	アスト津
女性懇話会役員会	12/17(金)	はな房
令和３年度生涯現役促進地域連携事業 高年齢者雇用に関する再就職支援セミナー	12/ 2(木)	三重県四日市庁舎
	12/ 8(水)	三重県松阪庁舎
	12/21(火)	三重県伊勢庁舎

三重県経営者協会

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1森永三重ビル3F

TEL 059-228-3557 FAX 059-228-3710

ホームページ http://miekeikyo.jp

E-mail info@miekeikyo.jp

2022年１月25日 発 行

発行人／三重県経営者協会